

個別プロジェクト「情報化サミット2011」推進会議のご案内

ITC中部はITコーディネータ協会の後援のもと、ITC岐阜、ITC三重、ITC富山、ITC石川県の協力を得て、来る来年度の情報化サミット及び中部IT経営力大賞の実行支援を行うために個別プロジェクト「情報化サミット2011」推進会議を立上ました。

このプロジェクトの目的は、本来のNPO法人の目的にたちかえり、「情報化サミット」をITC中部及び中部5県のITC組織の一大イベントと位置づけ、ITコーディネータの活躍を広く産業界に知っていただき、その実績を発表することにより、ITコーディネータの地位向上を目指すことにあります。

■「情報化サミット2011」推進会議体制

リーダー：水口

サブリーダー：谷口

顧問：江坂

メンバー：

伊藤、内藤、磯部、山崎、山田（秀）、山田（和）、木原、
後藤、鳥内（ITC岐阜 山田、ITC三重 内藤、

ITC富山 吉田、ITC石川県 横屋）

毎月1回程度の推進会議を開催します。

■「情報化サミット2011」は、2011年2月22日（火）を予定し、情報化サミットの開催とともに「ITCカンファレンス」を同時に開催する計画を進めています。

■企画内容（実際の開催時には変更されることがあります）

午前の部「ITCカンファレンス2011 in中部」

10:30-12:30

講演・ITコーディネータ事例発表

午後の部「情報化サミット2011」

13:00-14:00 基調講演

14:00-15:00 中部IT経営力大賞表彰式

15:00-17:00 表彰企業事例発表

集客目標 250名

会場 ウインクあいち 小ホール

■ITC中部の会員の方々へ

このプロジェクトを成功へ導くため、会員の皆様は、ITコーディネータ事例発表、中部IT経営力大賞応募企業の推薦、「ITCカンファレンス」「情報化サミット2011」の企画・運営に積極的な参画をお願いします。

（ITC中部 副理事長 水口 和美）



「情報化サミット2010」の模様



中部IT経営力大賞2010の受賞者

事務局だより

1. 年会費の納付のお願い

22年度になり6ヶ月が経ちましたが、22年度の年会費（5,000円）をまだ未納の方が居られます。下記銀行口座にお振込みをお願いいたします。

<振込先>

銀行名：三菱東京UFJ銀行 金山支店

口座：普通、1090276

口座名：トクティイエイリカドウホウジンアイ

尚、会社名義でお振込みの場合には、お手数かけますが会社名と振込者名を事務局まで、ご連絡をお願いいたします。

2. 会員登録情報確認のお願い

広報誌「架け橋」を会員の皆様へ毎年2回お送りしていますが、返送されてくるケースが発生しております。広報誌が届かない、会員メールが届いていないという方が周囲に居られました、是非、事務局までご連絡をお願いいたします。

3. パンフレット、広報誌配布のお願い

ITC中部のパンフレットや広報誌「架け橋」を、ITコーディネータの知名度アップや、ITC中部への入会のお誘いなどにご活用ください。ご入用の際には、事務局までご連絡ください。

ITC中部 事務局連絡先 info@itc-chubu.jp

（ITC中部事務局 伊藤 実）

NPO・ITC中部広報誌第15号 平成22年8月31日 発行

発行：NPO・ITC中部広報委員会（〒460-0022 名古屋市中区金山五丁目11-6(NSC)内）

発行責任者：NPO・ITC中部 理事長 矢口 隆明 編集責任者：NPO・ITC中部 広報委員長 森田 正博

ホームページ(<http://www.itc-chubu.jp/>)

NPO・ITC中部 広報誌

Vol.15

架け橋

KAKEHASHI

ビジネススキルアップ委員会（旧ポイント委員会）山田新委員長挨拶

●特定非営利活動法人ITC中部の会員の皆様

ITC会員の皆様、本年度より谷口委員長の後任として、ITC中部のビジネススキルアップ委員会（旧ポイント委員会）の委員長を拝命させていただきました山田 秀穂です。精一杯、当会の発展に向けて努力いたしますので何卒ご支援をよろしくお願いいたします。

平成13年2月に国家プロジェクトとして生まれた、ITコーディネータ資格も長い年月が経過してひとつの岐路に立っています。ITコーディネータ協会は、本資格維持・向上について本年、第1の緊急課題に、ITコーディネータの実践力を上げ、IT活用能力の向上や若手ITCのプロITC化、業種・業態別経営知識の深化などの取組みを強化して、社会に受け入れられるITCの活動を支援しようとしています。

その流れを受けてポイント委員会は、ITコーディネータのビジネススキルアップを支援する委員会という色合いを明確にする為、長年親しみた「ポイント委員会」から「ビジネススキルアップ委員会」へ改名いたしました。またポイント委員会の実験的プロジェクトとしてスタートしたiPhoneプロジェクトも継続し、さらに強化していきます。

私が、ITコーディネータを目指したのは今から3年

前のこと、当時は名古屋鉄道からメイテツコムへ出向したばかりで、正直、聞いたことのない横文字を流暢に話すこの業界に戸惑う日々でした。ちょうどその頃、上司からITCの資格取得を推奨いただき、ITCを取得。同時に、弊社取締役であり、当時ITC中部 理事でありました日比取締役よりITC中部 評議員に推薦され、ポイント委員 副委員長を2年、今期、ビジネススキルアップ委員長を拝命させていただくことになりました。メイテツコムへ出向する前は、名古屋鉄道経営企画部という部署で、新規事業のリサーチ・企画業務を担当していましたこともあり、ケース研修を受けた、IR情報や競合他社・業種情報を分析し、経営課題や業務課題の仮設を立て、お客様へご提案に活かしていました。こういう取り組みはとても懐かしく感じることもあり、たいへん親しみを感じました。ITCが掲げる「経営とITの架け橋」という言葉はいい言葉だと思いました。以前から憧れであったマイクロソフトが全世界で実施しているIT×企画イベントであります「ReMIX」にITCスキームを考慮して書いた企画書が最終審査を通り、全国4



ビジネススキルアップ委員会 山田委員長

社の中に選ばれ、中部地区で初めて、憧れのReMIXの舞台に立つことができました。その時、これが、経営企画×ITの力だと実感した瞬間でもありました。同時にこの環境を作っていた皆様に感謝しました。今後、ITが世の中にどんどん浸透し、ITなしで生きていいくことはできなくなると思います。とはいっても、経営・企画・ITすべてができる人は数少ないと思いますが、それをコーディネートしていくのがITCの役目だと思います。そんな人材がITCの中からどんどんと出てくるようビジネスキャリアアップのプログラムを考えていきたいと思います。世の中もそれを期待していると思います。

ここで少し余談ですが、私はAKBをプロデュースした秋元 康をたいへん尊敬しています。彼のプロデュースは多岐にわたり、それは必ずと言っていいほど、ヒットを生み出しています。一見お笑いのようなこともたくさんしてきていますが、単なる思い付きではなく常にアンテナをはり、トレンドをしっかりと把握し、論理的に展開される企画スキームを確立していると思います。すこしミーハーな感じもありますが、この不景気で世の中に明るい話題が少ない中、彼のような人が必要とされています。ビジネススキルアップ委員会も、彼の成功の秘訣をしっかりと学び、不況をトレンドととらえ、不況=新しいことはやらないのではなく、不況×新しいこと×国家プロジェクトを企画・実行していきたいと考えています。また、こういった発想も実現できるのが、ITCという組織であると思いますし、その環境を作っていくのが、ビジネススキルアップ委員会の役割だと考えています。是非皆さんと一緒に作っていきたいと思います。ぜひとも、皆様方の活発なご意見とご協力をお願い申し上げます。

（ITC中部ビジネススキルアップ委員長 山田 秀穂）

ITCの新たなビジネスモデル

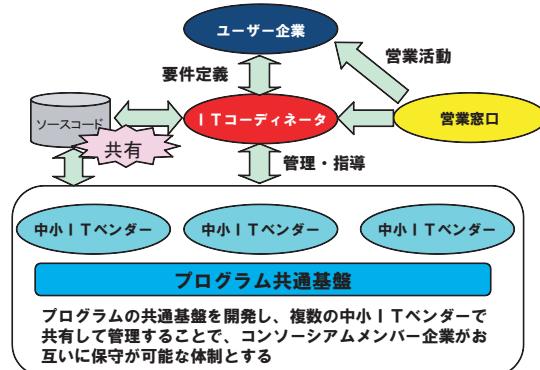
私は2006年にITCの資格を取り、23年間勤めていた会社を退職し独立系のITCとして活動をしております。始めた当初は未だ景気も良く、仕事にも恵まれ独立系ITCの諸先輩方にご指導頂きながらお客様のIT導入の支援をさせて頂き、支援した企業の数社は「中小企業IT経営力大賞」にも選出されました。(詳細はITC中部ホームページの活動事例をご覧下さい)しかし現在は長引く不況の中、IT投資を行う企業が減少し、IT投資を行ったとしてもコンサルタントまで雇える状況ではなく、本来のITCとしての業務は縮小しております。このような状況から脱出して独立系ITCとしての新たなビジネスモデルを作成するために、昨年度の「平成21年度地域情報化基盤整備費補助金」に公募し、採択された事業について紹介させて頂きます。

小規模の中小企業では多額のIT投資はできず、パッケージが適用可能であれば良いのですが、パッケージだけでは業務課題が解決できないケースも多く、カスタマイズや個別開発を行うと費用が掛り導入に踏み切れないのが現状です。零細ITベンダーを使えば比較的安価で開発可能ですが、倒産等のリスクがあり安心して任せられません。そこで複数の零細ITベンダーをまとめ、ITコーディネータの管理下に置き、開発基盤を共有することで仮に1社が倒産しても他のベンダーが継続して保守可能な体制を作ることでお客様のリスクを減少させます。またプロジェクトマネージャーをITCが行うことで、零細ITベンダーの人材不足を補うことも可能となります。今後この事業を軌道に乗せて新たなビジネスモデルを確立したいと思います。

(ITC中部 秋山 剛)



株式会社 I Tイノベーション 秋山氏



平成22年度総会・講演会の報告

平成22年度総会・講演会が、平成22年6月12日(土)、愛知県産業労働センター(ワインクあいち)1101会議室にて、満員御礼となる107名の参加により開催されました。

矢口理事長による開会挨拶・総会に引き続き、中部経済産業局地域経済部情報政策課 山田課長補佐から「中部地域イノベーションパートナーシップについて」、ITコーディネータ協会 高橋専務理事から「ITコーディネータ制度の現状とITコーディネータ協会の中期計画」、中京テレビ放送の川本哲也氏による「3Dテレビ時代の幕開け」、ITコーディネータ協会 業務開発広報の中塚氏による「ITコーディネータの市場創出と実践力強化に向けて」の4つの特別講演をいただきました。

総会におきましては、各委員会による活動報告とともに以下の4議案が可決されました。

- 第1号議案 平成21年度活動報告
- 第2号議案 平成21年度決算報告
- 第3号議案 平成22年度活動計画
- 第4号議案 平成22年度予算案

山田課長補佐の講演では、中堅・中小企業に対するIT経営の推進、IT利活用の促進、ITユーザーとITベンダーの連携強化の取り組

みについて、国の施策をわかりやすく説明いただきました。

中京テレビの川本氏の講演では、3D映像についてわかりやすく紹介いただき、3Dを手軽に体験できるグッズも会場に準備いただいたことで、3Dを身近に体験することができました。

3D映像は、とてもリアルで楽しく感じることができ、技術の進化と市場の成長によって、今後の展開が非常に期待されていることを実感致しました。

ITコーディネータ協会の高橋専務理事、中塚氏の講演では、ITコーディネータの現状と課題、協会の中期計画の骨子、今年度の事業計画について説明いただき、ITコーディネータ協会は、ITC中部およびITコーディネータの益々の活躍に期待しているという熱意を感じました。

(ITC中部 烟内 浩一)



中京テレビ放送 川本氏

ITCAの自治体ビジネスWGに参加して

ITCA主催の自治体ビジネスWGに参加しましたので報告します。4月22日(木)に、第1回の自治体ビジネスWGが開催された。このWGは、自治体ビジネスにこれから挑戦するITC向けに、自治体については良く知らない自治体初心者のITCが、自治体にビジネスアプローチするためのテキストを作成する作業部会である。このWGは、基礎編とデータ編のグループに分かれており、全体18名で、北は栃木県から南は沖縄県までの自治体についての専門家が集まつた。その中で、私はデータ編の担当として参加した。

基礎編は、自治体の攻め方を中心に解説し、データ編は、自治体についての各種情報を提供する2部構成である。データ編では、まず、各章、各節の項目を洗い出し、それぞれのITCが、分担して作成した。その作成した資料を持ち寄って、レビューをしたわけである。データ編のITCの方は、すでに、自治体ビジネスを実際に手がけておら

れる方々で、大変楽しくレビューは行えたり、また知らない知識をたくさん習得できた。

一口に自治体といっても、県レベルから市町村レベルまであり、その組織や機能は大きく異なる。自治体の情報をLASDIC(地方自治情報センター)など公開されているHPなどから入手して整理した。

ITCAとしては、作成したテキストを使って8月ごろからITC向けセミナーを開催する予定である。この記事を読まれているころには、セミナーに参加された方もいると思う。今回は、初級編であるが、今後中級編も計画されるとの事である。

皆さんも、こうしたITCのWGや研究会に参加し、全国のITCと語り合うことは、勉強になるし、楽しくITCの交流ができるのでお勧めしたい。

(ITC中部 伊藤 実)

ITCのフレームワークを活かすこと

はじめまして、山本健太です。今回は数多くの独立系ITCの中から私が皆様へ情報を発信する機会をいただきました。大変感謝しております。現在、私は個人事業・中小企業を中心に、戦略コンサルティングを行っています。クライアント様の目標達成のための戦略と一緒に企画・立案し、実行をサポートすることが基本的な仕事です。目標はクライアント様によってまちまちですが、最近ではホームページから集客したい、ブログから集客したいといったインターネットマーケティングのご依頼が多くなってきています。

私の戦略コンサルティングの手法は、ITCのプロセスガイドラインを基にしています。体系的に纏められたフレームワークは非常に活用範囲の広いものです。今の私のビジネスモデルの根幹をなすITCのケース研修は、これまで受けた研修の中で最も費用対効果があった研修といえます。ここで身に付けた手法を如何に活かしていくか?これが私のビジネスモデルの命題です。

私が起業をした時、ホームページや簡単なシステム開発から当該企業にIT経営を知つてもらい、目を向けていただく事を模索していた時期がありました。しかし、私が接する人達は、そんなことより目の前の課題を如何に解決したらよいか、四六時中考えている人達でした。



戦略コンサルタント 山本氏

現在はIT経営を実践するプロフェッショナルという立ち位置とは変わってしまいましたが、日々の業務にITを如何に活用していくかという視点は重要視しています。今後もITを活用した戦略コンサルティングを提供していきたいと思っています。

(ITC中部 山本 健太)

第8回架け橋会ゴルフコンペ

2010年6月5日(土)ITC中部広報委員会主催の第8回架け橋会ゴルフコンペが名古屋広幅ゴルフコースで開催されました。当日はからつと晴れた晴天で、日中は30度を越す気温でしたが、心地よい風が少し吹く絶好のゴルフ日和でした。参加者は11名と若干寂しいコンペでしたが、矢口理事長・和澤副理事長などの理事・評議員の方や、ITC中部OBの方、初出場の若い会員の方にも参加を頂き、和やかで楽しく開催できました。

架け橋会ゴルフコンペは毎回ダブルペリアで実施しており、上がってみないと結果が分からないという楽しみや、初出場での優勝も可能です。今回はグロス88／ネット72.4で初出場の近藤さんが優勝されました。また参加者全員の平均スコアがグロス100／ネット77.4という結果で、非常に僅差の接戦でした。ベスグロはグロス84で矢口理事長が前回に続いて獲得されました。

賞品は今回も参加者全員から持ち寄って頂きました品物を成績上位者から順に好きなものを選ぶことにしましたが、ご自宅の畠で取れた新鮮な野菜や頂き物のタオル、ワイン、焼酎など、大変好評で参

加者全員が自分で選んだ賞品を貰うことが出来、皆さんに喜んで貰えました。今後もこの参加者による賞品の持ち寄りを続けていきますので、これから参加する方も是非ともご協力をお願いします。

(ITC中部 日比 政博)



架け橋会ゴルフコンペ参加の皆さん